

**Team
Shimano**

社会活動報告書

[活動期間 2013.1.1-12.31]



SHIMANO

企業価値の向上を目指して

—— ころ躍る製品を

当社の事業活動の基本は、「ころ躍る製品」を社会に提供することです。使いやすく快適に走行できる自転車部品、テクノロジーと感性が融合した釣具はもとより、ウェアやシューズなど、それぞれの世界をより楽しく演出する製品をお届けすること。そして自然とともに楽しむサイクリング、フィッシングの素晴らしさをお伝えすることで、お客様により豊かなライフスタイルを実感していただきたいと考えています。

自転車部品事業

■ ロードスポーツの世界を拓く「ULTEGRA」

世界のプロロードレース界に実践投入されているDURA-ACEのテクノロジーを継承し、ULTEGRA 6800シリーズがデビュー。リア11スピード、4アームクランク、左右対称デュアルピボットブレーキ等、過酷な環境下で鍛え上げた革新的技術を採用。ロードレース、トライアスロン、ツーリングからシクロクロスまで、多彩なライディングシーン、あらゆるスタイルに合わせた選択が可能で、ロードスポーツの世界を広げます。



■ MTBテクノロジーの最新進化形「DEORE」

MTBの歴史を支えてきたDEOREが10スピード対応としてフルモデルチェンジ。悪路でも安定した変速システム、効率的にペダリングできる新歯組のギア、信頼性の高いブレーキにより、走破性を向上させました。より本格的にオフロードを楽しめるMTB仕様に加え、トレッキングバイク仕様もそろえ、あらゆるライダーのご要望に応えるコンポーネントが誕生しました。



■ グッドデザイン賞・ベスト100受賞「ALFINE Di2シリーズ」

公益財団法人 日本デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞とは、人によって生み出されるあらゆるものや活動を対象に選ばれる、社会全体を豊かにするデザインの推奨制度で、当社からは2つの製品が受賞しました。更にベスト100作品にALFINE Di2シリーズが選出されました。



ALFINE Di2シリーズは「街中をスポーティに走る」といったライフスタイルから自転車部品をデザイン。競技で培われた最新技術の応用や視認性の高いディスプレイ、変速スイッチのタッチの良さなどが評価されました。

bikefitting.com

自転車に乗る人の能力を最大限に引き出すためには、最適なライディングポジションが重要です。当社は、bikefitting.comブランドで個々にとって最適なライディングポジションを導き出し、身体に合った正しい自転車のセッティング*を行うことができる新しいシステムを発表しました。

専用の測定器を使用することで、蓄積された数多くのデータに基づいて、瞬時にユーザー様のポジションを導き出し、フィッティングの結果を得られます。さらにデータベースに登録した数多くの自転車ブランドの中から、15分以内にお勧めのフレームを探し出すことができます。販売店様にこのシステムをご活用いただくことによって、スポーツ自転車の最高のライディングポジションをユーザー様に提供できます。*自転車のフレームの大きさ、サドルの高さ、ハンドルの高さなど。



釣具事業

■ EFTTEXで受賞

オーストリア・ウィーンで開催されたヨーロッパの釣具見本市「EFTTEX」において、当社のSTELLA SWがベスト・ニュースピニングリール賞を獲得しました。



■ ICASTにおいて6部門で受賞

ラスベガスにおいて行われた全米最大の釣具見本市「ICAST」で、STELLA SWを含む当社製品が6部門で受賞しました。



■ グッドデザイン賞・ベイトキャスティングリール「Metanium」

ベイトキャスティングリールのMetaniumは、手になじむ形状や、各機能をアクセス良く配置した優れたデザインだけでなく、最新の機能を搭載。様々なシーンに対応できる高い汎用性、「投げる」「巻く」といったリールの基本性能、これらの高次元での両立が評価されました。



ロウイング事業

より高いフィット感を得るためにトリプルストラップを採用し、従来品に比べ30%近く軽量化を果たしたロウイングシューズKS-R610。





私たちのひとつづくり

人材育成の方針として考えていることは2つあります。1つは企業として当然取り組むべき育成プログラムを着実に遂行してゆくことです。そしてもう1つが、シマノらしい独自の育成プランであり、それを「価値創造企業」にいかにつなげてゆくかということです。当社では、ものづくりだけでなく、ひとつづくりも将来を見据えながら体系的に取り組んでいます。



階層別研修制度

■ 新入社員研修

新入社員に対して、まず当社の歴史や企業理念を理解してもらうことから始まります。チームシマノの一員として、全世界共通の理念のもと、考え、行動するために、講義に加え自転車実走や釣りの経験も含んだカリキュラムを行っています。



自社製品が生み出す楽しさを知る機会としての自転車実走



現場で釣りの楽しさを知る体験

■ 新任管理職研修

立場に応じたヒト・モノ・カネに対する責任と自覚を持ってもらうのが新任管理職研修です。部下の評価と育成を通じて組織を強化してゆくとともに、コンプライアンスの意識を高め、リスクを管理するなど、管理職の基本を身に付けます。

コミュニケーションスキル研修

チームシマノの中で、日本語が話せる社員は約1割。コミュニケーションを行う上で、外国語を必要とする場面が多く、業務に必要な語学研修を各拠点で行っています。とくに日本の本社では、共通語となる英語をはじめ、中国語研修などを行っています。また、新任班長を対象に「相手に伝わるプレゼンテーション」を、新任係長を対象に「わかりやすい人になる」をテーマにした研修を行い、明快なコミュニケーションが実践できるようにしています。

リーダー育成プログラム

■ SLD (Shimano Leadership Development) '01年スタート
当社では、社員を世界の販売店様に派遣するSLD活動を実施しています。これは、世界各地の自転車および釣具販売店様のご協力を得て、約3ヶ月間販売の最前線で働く体験を通じて、仕事やその土地の文化を学ぶプログラムです。



■ 強化育成研修

当社のリーダーとしての資質を身に付けるため、係長・課長および次長・部長を対象とした強化育成研修を実践しています。

グローバル研修

■ 海外経験

将来グローバルに活躍できる人材を育成するため、自転車レースの本場ヨーロッパでレーサーをサポートするメカニックを担当するなど、様々な海外経験を積むことも積極的に推し進めています。

■ グローバルコミュニケーション

班長を対象に、「インターナショナルプレゼンテーション」の機会を設け、各国のチームシマノスタッフとのコミュニケーションスキルを高めています。また、海外出向を見据え、互いの文化を理解し合ったり、相互信頼を高めるための「インターカルチュラルコミュニケーション」も定期的開催しています。

ライフサポート

年齢によってグルーピングし、将来の職場ライフや退職後のマイライフプランについて、セミナーやディスカッションを行っています。個人的なビジョンを持つことで、自らを鼓舞するとともに、会社全体のひとつづくりに寄与してもらうこととなります。



喜びの高揚

—— 人々に楽しみと喜びを提供する

こころ躍る製品、それは自転車、釣りの楽しさを
 広げるものに他なりません。
 そして自転車、釣りの楽しさを
 より多くの人々に伝え、その機会を提供していくことも、
 当社の重要な活動のひとつです。
 例えば、様々な自転車、釣りのイベントは、
 人々の楽しみのものであると同時に
 交流の場としての視点を大切にしています。
 自転車の安全教室や、健康を維持・
 増進するための健康サイクリングも行っています。
 今回は、「ライフ・クリエーション・スペース
 OVE（オーブ）」の活動をご紹介させていただきます。



OVE

OVE南青山

アクセス：東京メトロ銀座線・半蔵門線「表参道」駅
 または「外苑前」駅から徒歩8分

〒107-0062 東京都港区南青山3-4-8 KDXレジデンス南青山1F
 Phone：03-5785-0403

OVEは「喜び」をご一緒に考えます。

OVEは、新しい自転車文化の発信基地としての活動をしてい
 ます。行き先を決めて走るのではなく、ちょっと目線を変えて
 その道のりを愉しむ。そんな散歩感覚で、気ままに自転車を
 走らせる「OVE散歩」をはじめ、イベントやライブラリーを通
 じ、ゆったりと豊かに自転車に乗っていただくための様々なサ
 イクルライフスタイルの提案を行っています。

OVE 南青山

2006年、ファッションやアートとともに緑の佇まいが融合す
 る東京・南青山にライフ・クリエーション・スペースとして
 OVEがオープンしました。カフェ、散歩、イベント、セレクト
 アイテム（家具・雑貨など）を通じて、人と人、人と自転車の
 出会いを大切にその活動を続けています。おかげさまで、多
 くのお客様にご利用いただき、認知度も高まってきました。

🇯🇵 '06年スタート



OVE 中之島

自転車文化のさらなる発信を目指して、2012年11月、大阪・
 中之島に新たにオープンしました。大阪の中心地であり、伝
 統と文化、そして芸術を継承する華やぎのある大人の街、中
 之島から、ライブラリーやイベントそして散歩を通じて、上質
 で魅力的な自転車のあるライフスタイルを提案しています。



OVE

OVE中之島

アクセス：地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅・京阪中之島線「渡辺橋」駅から直結
 または地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅より西へ徒歩5分

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー フェスティバルプラザ1F
 Phone：06-6223-2626

ライブラリー (中之島)

厳選した蔵書により、小さな図書館として、お客様に自転車の知識はもとより、さまざまな楽しみがあるサイクルワールドを知っていただくことを目指しています。ゆったりとしたOVE空間で読んでいただくことも、貸し出しもできます。



サイクルライフコンシェルジュ (南青山、中之島)

お客様に合った、上質なサイクルライフについてスタッフがご相談にお答えします。一人ひとり異なった生活や嗜好に合わせ、より豊かなライフスタイルを創っていくための道具としての自転車をご提案したり、お客様が描いておられるイメージを具現化するためのアドバイスをさせていただきます。



散走 (南青山、中之島)

OVEの活動の幹となっているのが「散走」です。文字通り散歩感覚で無理をせず、走るこち良さを味わうOVE散走。「桜と水辺散走」や「写真散走」(中之島)、「オランダ大使館散走」や「レトロな下町路地裏散走」(南青山)など、スタッフがコース・食事など吟味を重ねた企画を毎週のように展開しています。



イベント (南青山、中之島)

文化の発信として、音楽コンサートや落語、著名なカメラマンやアーティストのトークショー・ワークショップなど、様々なイベントを企画開催しています。南青山、中之島ともに、毎回スペース一杯のお客様にお集りいただき、笑顔あふれる交流の場となっています。



カフェ (南青山)

有機野菜をはじめ、新鮮な食材をOVE流に毎日丁寧に調理してご賞味いただいています。食器の一つひとつにもこだわり、素材で上質な食文化に彩りを添えています。食は生活の基本、ライフ・クリエーション・スペースOVE南青山の大切な活動です。



セレクトアイテム (南青山、中之島)

日常の中でより魅力的に自転車を活用したいと考えておられる人々は少なくないはず。OVEでは、そんなお客様のライフスタイル全体をサポートするいくつかの商品を販売しています。南青山、中之島、独自のアイテムを企画し、愛着をもって使い続けていただけるものをお届けしています。



自転車に快適に乘れるようにデザインされたスーツ



自転車博物館サイクルセンター

1992年スタート

本社のある堺市に1992年に開館した自転車博物館サイクルセンター（運営：公益財団法人シマノ・サイクル開発センター）。国内で唯一の自転車専門の登録博物館として、自転車が発明された1818年のドライジーネ（レプリカ）からオリンピック出場選手が使用した自転車まで、約300台を保有。自転車の展示だけでなく、自転車のあるライフスタイルを提案するための各種イベントや講習など、様々な活動を行っています。



アクセス：JR阪和線「百舌鳥」駅から徒歩10分
〒590-0801 大阪府堺市堺区大仙中町18-2 Phone：072-243-3196

自転車乗り方教室（初心者スクール）

自転車に乗れない方々を、ビデオと実地指導によって、補助輪なしで乗れるようお手伝いする初心者のためのスクールを開催しています。受講生の増加を受けて、これまでの週末開催から水曜日にも追加開催を始め、2013年は93回開催しました。当社からもサポートメンバーを派遣しています。

※詳しくは、自転車博物館ウェブサイトをご覧ください。



自転車乗り方教室

〈その他の様々なイベント〉



健康サイクリング



夏休み絵画コンクール



大人のための
自転車ライフ体験セミナー

フィッシング・カフェ プロジェクト&シマノTV

2000年スタート

長年釣りに親しんできた人から、これから釣りを始めてみようという人まで、すべての釣り人が気ままに交流し、新しい釣り文化を創造していく「フィッシング・カフェ プロジェクト」。年3回発行される雑誌と、スカパーフェクTV・BS釣りビジョンで放送されるテレビ番組、最新情報をお届けするウェブサイトを通じて、釣りをめぐる様々な話題や情報を発信しています。

2007年からはウェブコンテンツとして24時間365日楽しめる、世界規模のフィッシングチャンネル「シマノTV」を開始。TVで放送された人気の釣り番組はもちろん、ジャパンカップなど当社主催の多彩なイベント映像、インストラクターによるデモンストレーション映像、その他ここでしか視聴できない希少映像を配信しています。また2012年からはソーシャルネットワークとの連携を強化し、フェイスブックシマノ公式ページに「Shimano Fishing」を開設。フィッシングライフをより豊かにするための交流の場として、誰もが気軽に参加していただけます。



Facebookシマノ公式ページ「Shimano Fishing」
<https://www.facebook.com/fishing.shimano>



フィッシングチャンネル「シマノTV」
<http://tv.shimano.co.jp/>

その他の活動

イベントの主催・協賛

世界各地で自転車や釣りのイベントを開催し、また協賛しています。日本をはじめとするアジア各地や、新興国ブラジルにおいても自転車や釣りの楽しみ方を提供し、除々に広がりを見せています。

■ 自転車イベント（主催/協賛）

- | | |
|---|--|
| <p>中国 '07年スタート</p> <p>1 シマノSBF（北京）
約1,130人が参加</p> | <p>ブラジル '10年スタート</p> <p>5 シマノフェスタ2013ブラジル
2日間で約9,000人が来場</p> |
| <p>中国 '10年スタート</p> <p>2 Shop-in-shop
レーシング（大連）</p> | <p>アルゼンチン '12年スタート</p> <p>6 シマノフェスタ2013
アルゼンチン</p> |
| <p>中国 '10年スタート</p> <p>3 ジャイアント・
シマノカップレース（瀋陽）
約4,200人が参加</p> | <p>日本 '84年スタート</p> <p>7 シマノ鈴鹿ロードレース</p> |
| <p>中国 '12年スタート</p> <p>4 CRONUS cup
Mountain race
約600人が参加</p> | <p>日本 '91年スタート</p> <p>8 シマノバイクーズ
フェスティバル</p> |



テクニカルサポートの派遣

トップレベルのプロレースだけでなく、幅広いサイクルスポーツイベントにサポートカーとスタッフを派遣。参加者の皆様に安全に楽しんでいただくことを第一にテクニカルサポートを行っています。



ツール・ド・海南

■ 釣りイベント（主催）

- | | |
|---|---|
| <p>日本 '84年スタート</p> <p>9 シマノジャパンカップ</p> | <p>香港 '02年スタート</p> <p>13 シマノ鱗海カップ</p> |
| <p>韓国 '07年スタート</p> <p>10 シマノカップ韓国ヘラ釣り大会</p> | <p>オランダ '11年スタート</p> <p>14 キッズフィッシング</p> |
| <p>中国 '02年スタート</p> <p>11 シマノ杯ヘラ釣り大会</p> | <p>ブラジル '10年スタート</p> <p>15 シマノフェスタ2013ブラジル
2日間で約9,000人が来場</p> |
| <p>台湾 '05年スタート</p> <p>12 シマノ台湾キャスティング教室</p> | |



利用環境の改善と保全

—— 自然環境、生活環境、製品利用環境の改善と保全への協力

アウトドア・スポーツを楽しむためのフィールドである地球環境を保全するために、たゆまぬ努力を続けることは、当社の基本的な命題です。製品をつくる過程において環境負荷を抑えるため、技術改良・革新に日々取り組むとともに、フィールドの清掃や環境改善活動へも積極的に参加しています。



シマノグリーンプラン国内コミッティ



世界の各工場拠点の担当者で構成されるシマノグリーンプラングローバルコミッティ

シマノグリーンプラン '04年スタート

当社では、エコロジカルで環境負荷の低い製品づくりを行うための指針として「シマノグリーンプラン（以下SGP）」を策定し、その順守に力を注いでいます。

■ SGPとは

当社製品を構成する原材料や部品・製品に含まれる化学物質について、次の3点を目的としたシマノ独自の調達基準です。

1. 製品含有化学物質管理値の明確化
2. それらの内容の取引先様における理解と改善サイクル
3. より環境負荷の少ない製品と安心を世界中のお客様にお届けする

品質管理部 QIT 課製品環境法務係が、ヘッドクォーターとしてSGPグローバルコミッティ運営やSGPの改訂版ドラフト作成を担っています。



品質管理部 QIT 課 桑原 一彰



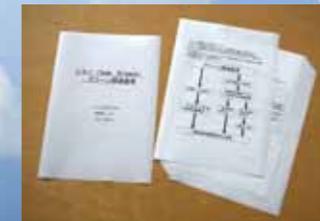
品質管理部 QIT 課 製品環境法務係 武宮 由季

〈SGPの概要〉



■ 2004年に「シマノグリーン調達基準」としてスタート

SGPは「シマノグリーン調達基準」として2004年からスタートし、2006年に発行した第4版より「シマノグリーンプラン（SGP）」となりました。毎年、様々な視点から見直され、現在第8版3号まで改訂されています。とくに、2013年は10年目を迎えることになり、SGPのあり方そのものを再認識する年としました。



SGP改訂の経緯

2006年の第4版からEUのRoHS指令への対応を開始するとともに、当社の自主基準として定めた使用禁止物質も含めた管理基準で取引先様にご協力いただくようになりました。

第5版は日本の化審法（化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律）を中心として法規制を整備したものと発行しました。第6版では、アメリカProp65をはじめ法規制の見直しを徹底し、リスク低減を目的として内容を改訂しました。

その間、法規制も次々と新しく制定され、しだいに法規制も使用禁止物質の規制というよりも情報管理という特徴が濃くなってきました。

第7版ではその変化の典型であるEUのREACH規則に対応し、取引先様から使用情報、含有情報を収集できるようになっています。

第8版では、取引先様と当社間のSGP管理に関する理解のギャップを無くし、SGP順守レベルの向上を図っています。また、SGPに関する業務プロセスを見直し、取引先様、当社双方の業務効率化を図っています。下図はSGPの管理フローを示すものです。

SGP改訂の経緯			
改訂	発行	法規制	重点項目
第4版	2006.4	EU RoHS指令	シマノ自主基準の提案
第5版	2006.10	化審法	法令の整備
第6版	2008.5	アメリカ：Prop65	リスク低減
第7版	2009.9	BAA環境負荷基準 アメリカ：CPSIA EU REACH規則	情報伝達の義務に対応
第8版	2011.12	EU REACH規則 SVHCの追加	順守性の向上

SGPの役割

2004年にスタートした当初は、まさしく手さぐり状態でしたが、企業価値を高めていく活動として真摯に取り組むことを基本としました。2006年の第4版を発行する頃から、まだまだ基本的な活動に終始したとはいえ、世界各地の工場共通の命題としての認識が確立し、現在のSGPのいしずえを築いてきました。

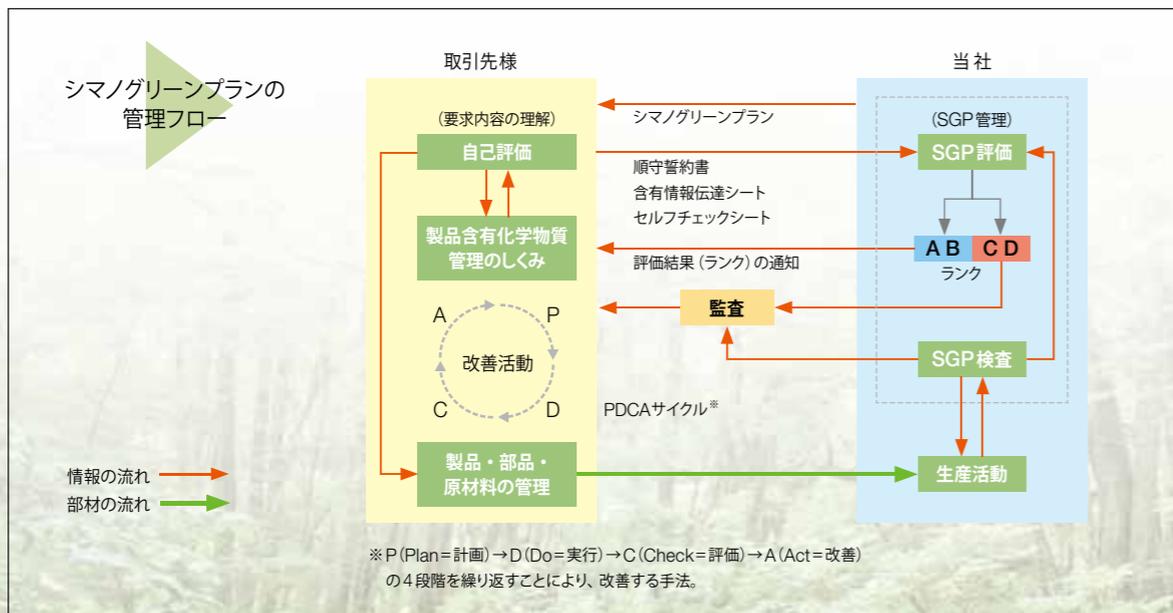
人にやさしく、環境にやさしいものづくりが評される今日にあって、SGPの役割はますます重要なものとなっています。

お客様により信頼される製品づくりをこれからも取引先様と一体となって推し進めてまいります。

また、将来に向けて、SGPの役割をさらに強化してまいります。そのため、SGPの独自性を高め、企業市民として積極的な活動とし、取引先様との信頼関係もより強固なものにしてゆきたいと思っています。



取引先様対象の技術説明



取引先様でSGPの管理状態を監査



各工場では有害物質の成分分析

身近な環境に対する取り組み

植林活動 '04年スタート

シマノコンポーネンツマレーシアの社員が、ポンティアン大通り沿いに約102本の木を植えました。



アースデイ活動 '12年スタート

G.Loomis (アメリカ) の社員がウッドランドのすぐ西にあるコロンビア川河岸の一部を清掃しました。



ミリオンツリープロジェクト '09年スタート

シマノクンシャン (中国)、シマノテンシン (中国) の社員が、2014年までにモンゴル砂漠地帯に100万本の木を植える「ミリオンツリープロジェクト」に参加しています。2013年も引き続き2,000本の木を寄贈。若木の生長を願い、積極的に育成作業に参加しています。



工場周辺の清掃活動 '12年スタート

シマノテンシン (中国) の社員が参加し、地域の環境を守るために、工場および周辺道路の清掃を行いました。



環境教育への協力 '06年スタート

本社所在地である大阪府堺市の小学校に当社の社員が訪問し、環境教育のサポートを行っています。その活動として石津川ヨシによるハガキの紙漉きの授業を行いました。水質改善のために、児童自らが石津川に植えて育てたヨシを使っています。このような活動を通じて、幼少期からの環境教育をサポートしています。



大和川クリーンアップ '01年スタート

大和川再生協議会が主催する清掃活動に、社員がボランティアとして協力しています。2013年の「大和川クリーンアップキャンペーン」では、180名の社員が参加しました。



環境負荷低減への取り組み

ウォータートリートメント '97年スタート

シマノクンシャン (中国) では水資源を保護するために、工場排水の浄化施設を備えています。



騒音監視

'99年スタート

シマノクンシャン (中国) 工場周辺の住宅地域における騒音による影響を抑え、さらに職場環境の向上を目指すために、工場内の騒音を担当者が監視するシステムを構築しています。



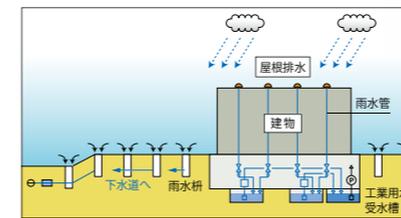
省エネ対策

下関工場では、部署別に省エネのためのパトロールを行い、さらなるムダの抽出と改善策の実施に取り組みました。本年は蛍光灯のワット数変更、照明器具のレイアウト変更やLED化等、工場の照明交換を行うことで、年間CO₂排出量を51.1t削減、電力使用量を39,603kWh削減しました。その他には機器の運転を制御することで、年間CO₂排出量を計143.5t削減。電力使用量を計218,633kWh (原油換算では56kl) の削減を達成しました。



環境に配慮した新工場の建設

2011年より大阪府堺市の本社工場の建て替えを行っています。2013年秋に第2期工事を終え、環境に配慮した設備が整った工場棟が完成しました。空気圧縮機やボイラー、空調、照明など、それぞれのグループで、省エネ目標を設定しています。



図のような雨水の有効利用、また自社内の排水処理設備で処理した水の再利用により、施設完成前に比べ、約4分の1にまで使用量を抑えることができました。

(イラストはイメージです)



新工場外観

社員への自転車通勤促進

BIKE TO WORK

'98年スタート

シマノアメリカンでは全米で実施される自転車通勤週間にあわせ、「BIKE TO WORK」イベントで一層の自転車通勤を社員に呼びかけています。



エコ通勤優良事業所

'09年スタート

本社が実施している自転車通勤推進の取り組みは、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団から「エコ通勤優良事業所」として認定されています。この認定に基づく取り組み目標として、当社ではマイカー通勤によるCO₂排出量を対2010年比 (2年間目標値継続のため) で毎年1%ずつ減らすことを計画に盛り込んでいます。2013年は、目標値6,608kg削減に対し、約5倍の35,050kg削減を達成することができました。2014年も引き続き、環境負荷低減活動に積極的に取り組みたいと考えています。



エコ通勤優良事業所認定
京都府定章の目標達成に貢献しています

信頼の構築

—— 地域社会に企業市民として
参加し協働する

地域社会とのコミュニケーションを密にし、
企業市民として共存・共栄を図ることは、
当社の理想とする企業姿勢です。
日本はもとより、世界各地に拠点を置く
地域社会の一員として、
地域と一体となって取り組める活動を
積極的に行っています。



STRIVE プログラム 2011年 - 2013年

STRIVE*とは、シンガポールの学校教育指導の一環として、自転車の基礎的メンテナンスや安全走行の講習などを行うプログラムです。シマノシンガポールの協力の下、地元であるジュロン中学校を対象として、2011年に3年間のプログラムとして開始されました。STRIVEでは、生徒たちに実用的な自転車のスキルの取得のためのプログラムを提供するとともに、ロードセイフティーパーク（交通安全公園）での、自転車のメンテナンスを通して地域社会へ貢献を行いました。この活動を通し、生徒たちは自転車のことを深く知り、安全走行についての理解も深まりました。講習会是对話形式で行われ、視覚教材や実践的な訓練によって、基本的な自転車メンテナンスの技術を伝えました。

- * S... Skill
- T... TIME (Teach, Inspire, Mentor, Enhance)
- R... Reaching to the community
- I... Inspiring student
- V... Vibrant teaching
- E... Energetic trainer



STRIVE のオープニング
セレモニーで目録を手渡すシマノの樽谷潔氏(左)
(2011年)



シマノスタッフと主賓の方々(2011年)



オープニングセレモニーでの
サイクリングのスタートの様子(2011年)



また、生徒たちに自転車の安全走行のスキルを習得してもらうよう、数回にわたって実践的な郊外へのサイクリングを実施しました。プログラム発足3年目となると、上級生たちが下級生に簡単な自転車メンテナンスの指導もできるようになり、また下級生たちの良き相談役にもなっていました。

このような経験を通して、生徒の自信やリーダーシップを育むこともできたと思います。

こうしてジュロン中学校、友愛公共事業センター、国立公園委員会、そしてシマノシンガポールが協力し合い、3年間のSTRIVEプログラムは、2013年10月19日に終了しました。「サイクリング 健康と幸福と調和のために ("Cycling for Health, Happiness and Harmony")」というSTRIVEのスローガンのもと、生徒たちが実践的なスキルを身に付けるだけでなく、彼らの社会性を育み、自信を深め、個性を高めることに貢献できたと考えます。



クロージングセレモニーにて、記念品がシマノシンガポールの代表者(左)に贈呈されました(2013年)



自転車の機能講習



万が一に備えて、応急処置の講習も行われました



サイクリングの途中で休息する学生たち(2013年)



交通安全公園にて、自転車の整備を行う学生たち

安全で楽しい自転車利用を目指す

環境保護のための自転車ツアーを支援 '11年スタート

シマノラテンアメリカの社員がサンパウロのピニエイロス川の汚染浄化のための自転車ツアーを呼びかけ、約300人が参加しました。つつまじやかなイベントながら各種メディアからの反響は大きく、ラジオやブラジルの主な雑誌、テレビ番組から取材を受けました。



子供たちへの自転車教育 '13年スタート

シマノラテンアメリカがブエノスアイレス市での公開講座でワークショップに協力。主に小学生を対象に、持続可能な社会や有効な移動手段について考える時間を提供しました。



環境を考えた「自転車便」を支援 '12年スタート

「二酸化炭素排出ゼロ自転車便」が非営利団体Aro60の組織化とメカニックサポートイベントの資金調達のための運動を後援。シマノラテンアメリカの社員2人が、ボランティアの自転車便の配送人としてこの運動に参加しました。



若者の自転車ライドを支援 '12年スタート

健康的なライフスタイルの促進と安全なサイクリングへの意識向上を目指し、若者が参加する自転車ライドを開催しました。

サイクルアカデミーの開催 '05年スタート

自転車ファンの裾野拡大を目指し、初心者や中級者、あるいは子供たちに、ロードレーサーの基本的なノウハウや乗り方をレクチャーする活動です。シマノレーシングチームの現役メンバーが指導にあたっています。



企業市民として

小学校での教育プログラムを支援 '10年スタート

マレーシアのポンティアン地区ペカン・ナナスにある小学校で、講話やぬり絵大会など様々な活動を実施。参加児童の総数は1,133名になりました。



 **地域のスポーツ活動を支援** '13年スタート

インドネシアのバタミンド工業団地内にある企業50社すべての従業員が参加できるスポーツ活動を支援しています。サッカー、男子バレーボール、女子バレーボール、男子バドミントン、女子バドミントン、バスケットボール、チェス、卓球の8競技が行われました。



 **子供たちへのクリスマスプレゼントを購入** '06年スタート

アメリカのカリフォルニア州にあるウッドランド・コミュニティサービスセンターは、ウッドランドの子供たちの名前とクリスマスに欲しいものを書いたタグを提供。G.Loomis (アメリカ) の社員はクリスマスツリーに掲げられたタグに基づいて、子供たちへのプレゼントを購入しました。



 **児童保護施設を支援** '13年スタート

地元の児童の教育や育児を行う児童保護施設を通年で支援しました。児童はマウンテンバイクの練習が奨励され、サイクリングチームの一員にもなっています。シマノラテンアメリカ(ブラジル)の社員は子供の日のイベントに参加し、プレゼントや服を提供するなど、近隣のすべての子供たちのための活動を主催しました。



 **自転車の点検およびテクニカルサポート** '12年スタート

シンガポールでは、生徒が交通警察の交通安全公園を訪れ、交通ルール、安全な自転車の乗り方、道路使用者の安全対策など多くのことを学びます。シマノシンガポールの社員が生徒たちの自転車を点検するテクニカルサポートサービスを行いました。

 **義援活動**

 **パールイズミ製シューズを寄贈** '13年スタート

シマノオーストラリアはソロモン諸島にある集落の人々に、生活に必要なシューズを寄贈しました。



 **学用品の提供** '11年スタート

G.Loomisの社員は子供たちが学校で十分に勉強ができるよう、必要な学用品を揃えて提供しました。

 **チャリティー自転車ライドを支援** '13年スタート

シマノオーストラリアはオーストラリア乳がんネットワークの資金調達のためにメルボルンからパースまで自転車で旅する活動を支援して、自転車部品とパールイズミ製サイクリングウェアを提供しました。



 **献血の推進** '96年スタート

シマノバタム (インドネシア) で3回の献血を行いました。



 **孤児院への寄付** '07年スタート

シマノバタムの社員が孤児院を訪問し、会社として4,505万8,000ルピア (約40万円相当) に加え、社員から集めた寄付金 (約13万6千円相当) と生活必需品および食料を寄付しました。



 **チャリティーくじ抽せん会を開催** '13年スタート

G.Loomisの様々な品物 (料理本、コーヒーバスケット、シャツ、Tシャツ、釣竿) が当たるくじを1本1ドルで販売。休日中のホームレスの家族に提供するために、ワシントン州ロングビューのコミュニティ・ハウスに売上の49%を寄付しました。

 **サンパウロの子供たちへの支援** '13年スタート

シマノラテンアメリカは、サンパウロ南部地区の子供たちのための非営利団体Aro60に寄付とテントの貸し出しを行いました。社員は11月2日に何百人もの子供たちのために、ボランティアで自転車を修理しました。



 **東日本復興支援サイクリングに協力** '12年スタート

一般社団法人自転車協会主催の東日本の復興支援を目的としたサイクリング「CYCLE AID JAPAN 2013」に、当社から約200名の社員が参加、またテクニカルサポートとして協力しました。参加費の一部が義援金に役立てられます。



 **孤児院でチャリティーイベントを開催** '13年スタート

カンボジアのコンボンスプー州プノンスロック村の発展を願い、子供たちが暮らす孤児院でチャリティーイベントを開催しました。3日間のイベントで479.50ドルの現金と929.25ドル相当の食料、コンピューター式、プリンター1台、ミシン15台を寄付しました。



社会活動報告書を読んで

2013年はアベノミクスと言われる経済政策によって円安・株高が進行、市場は明るさを取り戻し、国内の経済環境は改善した。シマノは世界の各地に生産・販売拠点を早くから築いてきただけに業績面で順調である。その要因は単なるグローバル化だけではなく、ビジネスの新たなパラダイムへの転換を進めてきたことではないか、という点が今回の報告書の印象である。全体は4つのフェーズ：事業と人材育成、自転車と釣りの遊び、利用環境、企業市民活動の内容で構成されているが、それらが複合的に一体となって、シマノという企業の価値創造をしていることが読み取れるのである。



「価値」は供給サイドだけで生み出すことは難しくなっている。自転車部品でも釣具でも単品（コンテナ）単独ではなく、生活者やユーザーのプレイステージや生活文脈（コンテキスト）の中で、受け手にとって「価値」となるものでなければならない。換言すれば、他の製品・情報・サービスなどと組み合わせられて「価値」となる。従って複数の単品が仕組みとして連動し、ユーザーの目的を達成するテクノロジーとなると言えるだろう。

自転車部品事業でのロードスポーツの「ULTEGRA 6800」シリーズや、マウンテンバイク「DEORE」などの実現も、シマノがコンテキスト・プロバイダーとして、単品・単独ではなく、常に需要サイドからのニーズや周辺技術を複眼的に見つめ開発を続けてきた成果である。釣具とともに多くの国際的受賞を獲得したのもうなずける。

また企業組織の主たるプレイヤーである人材の育成を価値創造カテゴリーで扱っている点は注目される。企業で最も重要な人材が日本の産業界では十分育成されていないという声をよく耳にするが、シマノでは各種の研修制度を実施しており、将来につながる資源投資をしている。経営学者のアルブレヒト（Karl Albrecht）は一次元的知性より多面的知性の大切さを唱え、プロジェクトチームでの相互作用から生まれる社会的知性の必要性を強調した。外国語研修でのアクティブ・ラーニングなどはまさにグローバル対応であり、退職後のマイライフプランの企画なども、いま日本社会に求められている課題対応研修と言えるだろう。

自転車や釣具等の製品をユーザーの遊びに結びつける活動は「OVE」拠点で展開されている。情報発信基地であり、イベント開催地でもあり、ライブラリーやカフェも備えており、自転車による「散走」など、「こんな身近に、こんなものがあつたのか」と自転車の楽しみ方を提案している。堺市にある自転車博物館サイクルセンターでの自転車乗り方教室や、海外各地での自転車や釣りのイベント開催は生活経験の可能性をオファーしていると解釈できる。

自転車でも釣りでも、アウトドア・スポーツに関わる事業が主力のシマノは自然環境への負荷を減らす「シマノグリーンプラン」(SGP)を2004年から開始、今年で10年目、2011年12月に第8版となり、SGPの順守レベルを向上させるためのSGP管理フローやロードマップが分かりやすい。マレーシア、米国、中国、日本など各地で植林、アースデイ、工場周辺の清掃、騒音監視、照明装置の省エネ化が進んでおり、全米の自転車通勤週間にならない、日本でもその種のイベントを企画して身近な話題とした。エコ通勤優良事務所として認定されているのはSGPのパフォーマンスとして評価されるべきだろう。

シマノがグローバルに社会活動する企業であることは、多くの国、地域の人々と信頼関係を構築することを意味している。シンガポールでは中学生を対象に、自転車の基礎的メンテナンスや安全走行講習などのSTRIVEプログラムを3年間で実施、「サイクリング 健康と幸福と調和のために」をスローガンに終了した。若者との体験的交流こそ、信頼づくりの基本であり将来につながるものである。またブラジルでは河川の汚染浄化のための自転車ツアー、アルゼンチンでは子供たちの自転車教育や「二酸化炭素排出ゼロの自転車便」を支援、日本でもサイクルアカデミーでロードレーサーの基本的なノウハウや乗り方をシマノレーシングチームの現役メンバーが指導しているのが注目される。マレーシアでは小学校で講話やぬり絵大会など、教育プログラムを支援するなどのコーポレートシチズンシップ活動が広範に及んでいる。これらの活動はグローバルで持続可能な将来を担う次世代人づくりの点で社会的意義のあるものと考えられる。

本報告書は非財務情報としての社会活動がレポートされており、数値による財務報告では読みきれないシマノのコンセプチュアルな事業スタンスを見ることができた。但し、近年は財務・非財務を含む「統合報告」の潮流が急速に拡がりつつある。今後の報告のあり方を注視したい。

チームシマノ基本理念

本当によいものを世界の人々にお届けしたい——。
それは創業者から受け継がれてきた私たちシマノの基本的な願いです。
そして世界各国のスタッフから成るチームシマノは、
共通の理念のもと、共通の目的と共通のプロセスで活動を展開しています。

会社の使命

人と自然のふれあいの中で、
新しい価値を創造し、
健康とよろこびに貢献する。

[経営の方針]

- お客様に信頼され、満足していただけるサービスと製品を提供する。
- 企業価値を高め、開かれた経営を約束する。
- 達成感と、よろこびを分かち合える、
公正でいきいきとした職場づくりに努める。
- 社会の一員として環境を大切に、共に繁栄することを目指す。

[チームシマノの行動指針]

- 豊かな創造性をはぐくみ、たえず自己を啓発する。
- つねに技術の向上に努め、夢の実現に挑戦する。
- 大きく発想し、機敏な行動で着実に実行する。

SHIMANO
www.shimano.com

株式会社シマノ

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁目77番地

広報部 広報課

Phone: 072-223-3957

Fax : 072-223-6045

2014年3月15日発行 ©2014 by SHIMANO INC. Printed in Japan XBC IZM K-022